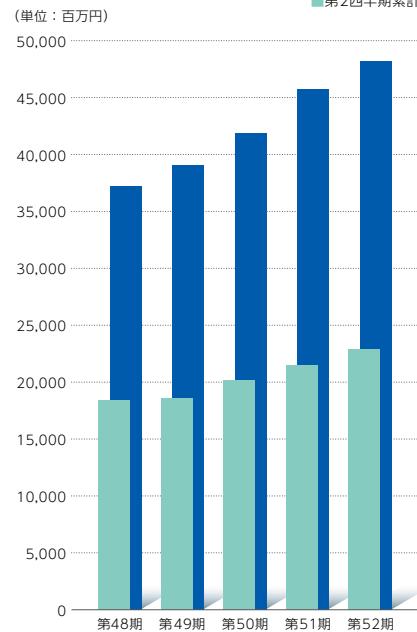


業績ハイライト(連結)

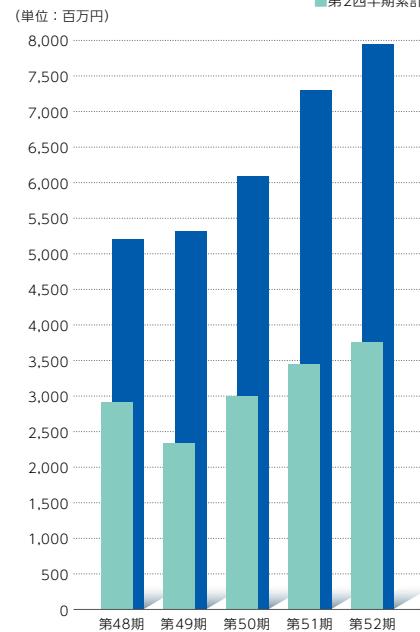
区分	期別	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期 (2021年3月期)
売上高(百万円)		37,194	39,065	41,856	45,754	48,183
経常利益(百万円)		5,208	5,318	6,090	7,303	7,946
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		3,087	3,361	3,838	4,659	5,121
1株当たり当期純利益(円)		277.78	302.46	345.39	419.24	460.88
総資産(百万円)		55,537	57,629	60,302	63,397	64,329
純資産(百万円)		27,121	29,633	32,334	35,768	39,575

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

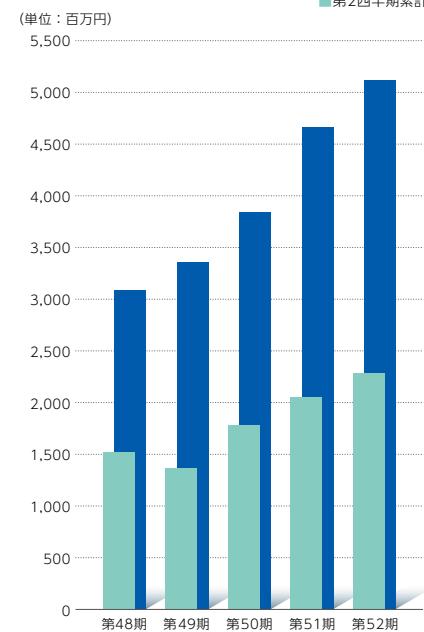
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当期の業績について

当連結会計年度の連結売上高は48,183百万円(前期同期比5.3%増)、営業利益は7,931百万円(前期同期比8.9%増)、経常利益は7,946百万円(前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,121百万円(前年同期比9.9%増)となり、8期連続の増収、7期連続の増益となりました。

モバイルスペースのレンタルについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一部工事の休止や延期の動きが見られましたが、3密対策のための新たな空間の設置や既存空間の拡張といったニーズの高まりや、官公庁の新型コロナ対策関連の引き合いの増加により、出荷棟数・稼働棟数ともに堅調に推移し、連結売上高は前年同期比2.2%増となりました。

モバイルスペースの販売については、テレワークスペースや販売店舗など、コロナ禍に対応する新生活様式により新たな空間のニーズが高まったことを受け、展示場来場者数やホームページの問い合わせ数は前年を大きく上回って推移いたしました。主に一般事業法人向けに事務所や店舗を販売する本設販売と、主に小型で安価な製品を販売するミニハウス販売の両方ともに売上高は前年を上回り、連結売上高は前年同期比9.4%増となりました。

トランクルーム事業についても、前期末より店舗数を12店舗増やすなど事業拡大を進め、連結売上高は前年同期比8.8%増となりました。設備やワークスペースなどの付帯サービスを設けた店舗開設も継続しております。

総資産は、レンタル資産を中心に8,508百万円の投資を行ったことなどにより、前連結会計年度末に比べ932百万円増加し、64,329百万円となりました。純資産の合計額は前連結会計年度に比べ3,807百万円増加して39,575百万円となり、自己資本比率は61.5%となりました。営業キャッシュフローも6,146百万円の獲得と安定しております。



臨時外来棟 外観



臨時外来棟 内観



飲食販売店 外観



飲食販売店 内観